

笑いは元気の源

清水
横田

浩さん 美和さん

宗一郎さん 亜希子さん
亜美さん



清水に暮らす横田さんファミリー。常に笑いの絶えない明るい家族です。

美容室を営む浩さんは、以前は近永に店を構えていましたが「亡くなった母のお客さんも愛治にはたくさんいる。そのお客さんも自分のお客さん」と、一念発起して、5年前から地元清水のお母さんが営んでいた店で再出発をしました。

そんな父の仕事ぶりを小さいころから見てきた長男の宗一郎さんは、現在県内の美容専門学校で美容師になるための修業中。「もっと技術を磨き、父に成長ぶりを見せたい」と意気込みも十分。

美和さんは3人の子ども達について「宗一郎には手を焼いたけど、今は夢に向かって頑張っているので応援したい。亜希子は高校の生徒会でも頑張っている。亜美はテニスで県大会出場という夢をつかんでほしい」と温かい眼差しで子どもたちを見つめていました。

ゆくゆくは横田家を担っていくであろう宗一郎さんの目標は「父のような美容師」。その目標を聞いた浩さんは「そのハードルは高いぞ」と一言。

その言葉に家族全員が笑い、終始明るい横田さんご家族でした。

次回は、浩さんのお客さんである橋本政志さんご家族です。

編集後記

▼地域行事のレクバレーボール大会に参加しました。次の日、首が回らないほどの肩の痛みに襲われました。まだそんな年ではないとの自負がありました。運動不足がたたったのでしょうか。一日中、肩の痛みに苦しみました。日頃から適度な運動は必要だと痛感しました。

▼表紙の写真を撮影しに訪れた新人戦の会場。自分も野球部だったことや、母校の後輩たちの懸命な姿に、自然とシャッターを押す指に力が入りました。

▼新人戦の取材中、試合に敗れ涙を流す選手がいました。それを励まし慰めるチームメイト。その姿に心を打たれました。また、会場内では本町の生徒はもちろん、他市町の生徒も「こんにちば」と大きな声であいさつをしてくれました。そのような中学生のはつらつとした姿に元気をもらいました。(末)

ほくほく鬼北 家族の絆